



2024年6月20日

各位

会社名 PostPrime株式会社
代表者名 代表取締役 高橋 ダニエル 圭
(コード番号: 198A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役コーポレートグループリーダー
羽 鳥 有 紀 彦
(TEL 03-6758-7255)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年6月20日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年5月期(2023年6月1日から2024年5月31日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	2024年5月期 (予想)		2024年5月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年5月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率	
売上高		936	100.0	734	100.0	787	100.0
営業利益		343	36.7	316	43.2	247	31.4
経常利益		366	39.2	338	46.1	260	33.1
当期(四半期)純利益		240	25.7	221	30.2	186	23.6
1株当たり当期 (四半期)純利益		24円02銭		22円16銭		18円61銭	
1株当たり配当金		0円00銭		0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2024年1月26日付で、普通株式1株につき10株の株式分割を行っておりますが、2023年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。
3. 2023年5月期(実績)、2024年5月期第3四半期累計期間(実績)及び2024年5月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当社は、基準日(2024年5月31日)を超えての新株式発行となることから、2024年5月期(予想)において、発行済株式総数の増加は見込んでおりません。

【2024年5月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見通し

(1) 経営方針

当社は、「最新テクノロジーを使用して、誰でもお金のことを楽しく学べるプラットフォームを拡大」というミッションを掲げ、その実現に向けて、SNS「PostPrime」を運営しております。

ミッション実現のために、自らクリエイターのようにアイデアを発想し、共有するという「コミュニケーション」、独創的な考えを尊重するという「創造性」、状況に関わらず相互にサポートしあうという「チームワーク」、及び常に当事者意識を持つという「責任感」というコアバリューを設けています。

当社は、SNS「PostPrime」を通して、ユーザーに対して新しい価値を提供し続けることで、社会的責任を果たしながら、継続的な企業価値向上に向け努力してまいります。

(2) 経営戦略

当社では、以下の点を経営戦略として重点的に行ってまいります。

① サービス健全性の継続的な改善を推進する仕組みの構築、運用、強化

SNSを展開するうえで、ユーザーに安心して利用していただくには、プラットフォームそのものだけでなく、提供されるコンテンツの健全性を継続的に確保することが不可欠であると考えております。そこで、SNS「PostPrime」では、投資・経済に関連するコンテンツが多いことから、投資助言業に関連する金融商品取引法に抵触しないようにするとともに、著作権等の知的財産権の侵害が行われないこと、誹謗中傷や公序良俗に反する行為が行われないことをモニタリングする体制の構築、運用に取り組んでおります。そのために、AIや担当チームメンバーによるモニタリング体制の強化に加え、投資助言業に関する金融商品取引法に関連するガイダンスや違反投稿に対する個別対応等の啓蒙活動を継続的に強化していくことで、質が高く健全なプラットフォームを目指しております。

② サービス拡充による、新規ユーザー獲得、顧客単価増大による収益拡大

従来展開しているグリーン・メンバーシップ、シルバー・メンバーシップ、ゴールド・メンバーシップに加え、2023年7月にリリースしたプラチナ・メンバーシップ及びAIアニメキャラクター導入がもたらす訴求効果により、新規ユーザーの獲得、顧客単価の増大を図ります。加えて、ライブ配信の機能改善や、リアルイベントの継続的な開催を通じて、ユーザー同士の交流を一層促進させ、口コミによる新規ユーザーの獲得、プライムパートナーズによるプライムクリエイターの収益拡大、ソーシャルメディアや各種メディアへのマーケティングによる収益拡大に取り組んでまいります。

③ 新事業領域の展開

SNS「PostPrime」のユーザーのうち、潜在的な転職希望者の人材プールと求人企業とのマッチングを図る人材紹介及びSNS「PostPrime」においてクリエイターの投資・経済を初めとした知見を活かした教育コンテンツを提供する「コース」という、新事業領域の展開を進めております。また、中長期的には、海外展開、M&A、取引プラットフォーム構築による事業拡大に取り組んでまいります。

これらの事業展開を踏まえ、2024年5月期の業績につきましては、売上高を936百万円（前期比18.9%増）、営業利益を343百万円（前期比39.1%増）、経常利益を366百万円（前期比40.8%増）、当期純利益を240百万円（前期比29.1%増）と予想しております。

2. 業績予想の前提条件

業績予想は、2023年6月から2024年3月までの実績数値に、2024年4月から2024年5月までの予測値を加算して作成したものであります。

(1) 売上高

当社の売上高は、主に「プライム登録売上」、「メンバーシップ売上」及び「アフィリエイト広告」等から構成されています。

① プライム登録売上

SNS「PostPrime」において、ユーザーは、他のユーザー等による文章、画像、音声、動画またはライブ配信による投稿を視聴・閲覧することができますが、他のユーザー等の投稿の視聴・閲覧については、無料で視聴・閲覧できるものと、有料で視聴・閲覧できるものがあります。このうち、有料コンテンツを視聴・閲覧するためにはユーザーはサブスクリプション登録を行う必要があり、このことをプライム登録といいます。

プライム登録売上の算出にあたっては、予想登録件数及び平均単価に基づいております。予想登録件数及び平均単価は、各項目別に予算策定時の直近3か月程度の過去実績に基づく登録件数及び登録件数を基礎として、見込まれるチャンネル数増加等の施策やコンテンツ充実による価格変更可能性等の影響を考慮して算出しており、当社公式チャンネルの増設等によるプライム登録件数改善を踏まえ、前期比約3%の増収を見込んでおります。

KPI	2023年5月期	2024年5月期 第3四半期
プライム登録件数(件)	23,852	28,213

(注) プライム登録件数は、事業年度末または四半期末時点の残高件数を記載しております。

② メンバーシップ売上

SNS「PostPrime」において、ユーザーが「メンバーシップ」に加入し一定の期間に対応する料金を当社に支払うことによって、ユーザーが「プライム登録」の支払にあたり、メンバーシップのグレードに応じた割引が受けられる他、ユーザーによる株式指数等に関する予想の投票を集計した結果について、グレードに応じて、より有利な情報を閲覧できるようになるなどの特典が付与されるサービスです。

メンバーシップ売上の算出にあたっては、各項目別に見込まれる登録件数及び平均単価に基づいております。予想登録件数及び平均単価は、各項目別に予算策定時の直近3か月程度の過去実績に基づく登録件数及び平均単価を基礎として、見込まれる新たなメンバーシップグレードや追加される新機能がもたらす価値増大等の影響を考慮して算出しており、プラチナメンバーシップのリリース等によるメンバーシップ登録件数改善を踏まえ、前期比約148%の増収を見込んでおります。

KPI	2023年5月期	2024年5月期 第3四半期
メンバーシップ加入件数(件)	8,048	8,861

(注) メンバーシップ加入件数は、事業年度末または四半期末時点の残高件数を記載しております。

③ アフィリエイト広告

アフィリエイト広告とは、広告主がアフィリエイト・サービス・プロバイダー(ASP)と呼ばれる仲介業者を通じて、ウェブメディアの運営者等に対して広告を出稿し、一定の成果条件を達成した場合に成果報酬が支払われるというインターネット広告の一形態です。当社は、SNS「PostPrime」において、アフィリエイト広告の出稿を受け、掲載しております。当社は、アフィリエイト・サービス・プロバイダー(ASP)を通じて掲載した広告について、一定の成果条件を達成された場合に成果報酬を受領しております。

アフィリエイト広告売上の算出にあたっては、予想登録件数及び平均単価に基づいております。予想登録件数及び平均単価は、予算策定時の直近3か月程度の過去実績に基づく登録件数及び平均単価を基礎として、新たな広告主またはアフィリエイト・サービス・プロバイダー(ASP)との間で見込まれる取引条件やその変更見込み、過去の異常と考えられる要素等の影響を考慮して算出しており、前期におけ

るアフィリエイト登録件数の過熱状況を踏まえ、前期比約32%の減収を見込んでおります。

以上から、2024年5月期の売上高を936百万円（前期比18.9%増）と見込んでおります。

（2）売上原価、売上総利益

当社の売上原価のうち、主な構成要素である支払ロイヤリティは、プライム登録による売上に対して当社が一般プライムクリエイターに対して支払う費用です。プライム登録売上に対して、プライムクリエイターがロイヤリティとして受け取る収益率はプライムクリエイターのバッジレベルにより異なりますが、プライムクリエイターのバッジレベル分布に特筆すべき変動を見込んでいないため、過去実績に基づく平均収益率を予想されるプライム登録売上に乗じることにより、支払ロイヤリティの金額を見込んでおります。

以上から、2024年5月期の売上原価を102百万円（前期比31.5%増）、売上総利益を833百万円（前期比17.6%増）と見込んでおります。

（3）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費の主な構成要素は人件費、システム利用料、外注費、支払報酬料等であり、その他の経費も併せて積み上げで算出しております。

人件費については、人員計画に基づいた役職員の人数と各役職員別の報酬・給与を個別に見積もり、その積み上げにより金額を算出しており、185百万円（前期比7.4%増）と見込んでおります。

システム利用料については、主な内訳として、AWS使用料、iOS手数料、Android手数料、Stripe手数料等を基に算出しており、事業規模拡大により122百万円（前期比36.1%増）と見込んでおります。

外注費については、外注業務内容の項目ごとに個別に見積もり、その積み上げにより外注費全体の金額を算出しており、一部業務の効率化、内製化により39百万円（前期比25.7%減）と見込んでおります。

支払報酬料については、相手先項目ごとに個別に見積もり、その積み上げにより支払報酬料全体の金額を算出しており、特許関連費用の減少等により53百万円（前期比8.2%減）と見込んでおります。

以上から、2024年5月期の販売費及び一般管理費を490百万円（前期比6.1%増）、営業利益を343百万円（前期比39.1%増）と見込んでおります。

（4）営業外収益・費用、経常利益

営業外収益として、2024年3月までに発生した為替差益及び安全性の高い金融商品から生ずる有価証券利息を見込んでおります。また、営業外費用として、雑損失を見込んでおります。なお、当社では、新規株式上場に係る諸費用は、営業外費用ではなく、販売費および一般管理費として計上しております。

以上から、2024年5月期の営業外収益を24百万円（前期比79.3%増）、営業外費用を0百万円（前期は発生なし）、経常利益を366百万円（前期比40.8%増）と見込んでおります。

（5）特別利益・損失、当期純利益

特別利益として、新株予約権戻入益を見込んでおります。また、特別損失は発生を見込んでおりません。

以上から、特別利益を0百万円（前期は発生なし）、法人税等、税効果会計を考慮した結果、当期純利益を240百万円（前期比29.1%増）と見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年6月20日

上場会社名 PostPrime株式会社 上場取引所 東
コード番号 198A URL <https://corp.postprime.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 ダニエル 圭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートグループリーダー (氏名) 羽鳥 有紀彦 TEL 03 (6758) 7255
四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の業績(2023年6月1日~2024年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	734	-	316	-	338	-	221	-
2023年5月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	22.16	-
2023年5月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、2023年5月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年5月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2024年1月26日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行いました。2023年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	1,259	826	65.4
2023年5月期	918	605	65.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 823百万円 2023年5月期 602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年5月期	-	0.00	-	-	-
2024年5月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年5月期の業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	936	18.9	343	39.1	366	40.8	240	29.1	24.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期3Q	10,000,000株	2023年5月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	－株	2023年5月期	－株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期3Q	10,000,000株	2023年5月期3Q	－株

(注) 1. 当社は、2024年1月26日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行いました。2023年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

2. 2023年5月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年5月期第3四半期における期中平均株式数の記載をしておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向である一方で、エネルギーや食料品を中心とした物価の上昇、世界的な金融資本市場の変動等の影響によって、引き続き先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社では、中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、当社が主力事業として運営するSNS「PostPrime」において、より多くのユーザーに利用してもらえるようにするため、ユーザーにとって魅力的かつ有益な新機能や新サービスの開発に継続的に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間においては、AIアニメキャラクター、投票・チャートの全機能を使用できるプラチナ・メンバーシップ、プライムクリエイターまたは当社アカウントが金融・経済等の知見・ノウハウをまとめた動画等のコンテンツを一般ユーザーが購入することができるサービスである「コース」をリリースしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、734,340千円、営業利益は316,872千円、経常利益は338,454千円、四半期純利益は221,579千円となりました。

なお、当社は金融・経済情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,182,260千円となり、前事業年度末に比べ297,503千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加194,056千円、有価証券の減少139,002千円、未収入金の増加154,930千円、預け金の増加40,353千円、売掛金の増加5,114千円によるものであります。固定資産は77,545千円となり、前事業年度末に比べ44,264千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加44,947千円によるものであります。

この結果、総資産は1,259,805千円となり、前事業年度末に比べ341,768千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は432,972千円となり、前事業年度末に比べ120,488千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加84,535千円、契約負債の増加47,476千円、コイン引当金の増加17,054千円、未払消費税等の減少15,879千円によるものであります。

この結果、負債合計は432,972千円となり、前事業年度末に比べ120,488千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は826,833千円となり、前事業年度末に比べ221,279千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益221,579千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.4%（前事業年度末は65.6%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2024年6月20日の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,822	850,879
預け金	41,519	81,872
売掛金	31,107	36,222
有価証券	143,831	4,829
仕掛品	3,143	2,808
未収入金	1,052	155,982
前払費用	6,477	5,132
前渡金	179	715
未収収益	539	1,644
その他	83	42,174
流動資産合計	884,756	1,182,260
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	3,877	6,004
減価償却累計額	△1,534	△2,729
有形固定資産合計	2,342	3,274
投資その他の資産		
投資有価証券	-	44,947
差入保証金	1,900	1,900
長期前払費用	2,871	1,256
繰延税金資産	26,166	26,166
投資その他の資産合計	30,938	74,270
固定資産合計	33,280	77,545
資産合計	918,037	1,259,805
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,862	17,465
未払金	46,815	35,370
未払費用	2,548	550
契約負債	162,251	209,728
預り金	1,856	2,998
未払法人税等	32,639	117,175
未払消費税等	46,064	30,184
コイン引当金	2,444	19,499
流動負債合計	312,483	432,972
負債合計	312,483	432,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	601,084	822,663
株主資本合計	602,084	823,663
新株予約権	3,470	3,170
純資産合計	605,554	826,833
負債純資産合計	918,037	1,259,805

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	734,340
売上原価	78,312
売上総利益	656,027
販売費及び一般管理費	339,155
営業利益	316,872
営業外収益	
受取利息	6
有価証券利息	6,154
為替差益	14,774
雑収入	647
営業外収益合計	21,582
経常利益	338,454
特別利益	
新株予約権戻入益	300
特別利益合計	300
税引前四半期純利益	338,754
法人税等	117,175
四半期純利益	221,579

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期会計期間の期首から適用しており、当該会計方針の変更は、過去の期間のすべてに遡及適用されます。

なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

当社は、金融・経済情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。